

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

ヒレグロ

海域	日本海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
----	-----	------	--

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各県漁獲情報の集約を実施。また、日本海西部と日本海北部において、資源調査（日本海ズワイガニ等底魚資源調査、日本海北部底魚資源調査）を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・秋田県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2006～2018年の月別漁法別漁獲量ならびに1975年以降の年間漁獲量を精査中
 - ・富山県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2016～2018年は精査中
 - ・京都府では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・兵庫県では1971～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・鳥取県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・島根県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量ならびに2007～2018年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・水産資源研では各府県の漁獲量を集約した。また、日本海西部と日本海北部における資

源調査を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照
- (3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照
- (4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・日本海西部と日本海北部における資源調査に基づき資源量指標値を得る事が重要
- ・標本船調査の体制構築を進め、詳細な漁獲状況を把握することが重要
- ・日本海西部と日本海北部の個体群の生物学的・遺伝学的関係を調べる事が重要